

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
6 国・県指定文化財の指定及び保存・活用  【学術文化財課】	文化財保護費 ( 166,329) 154,961	<p>本県の文化財の保存・活用を推進するため、埋蔵文化財等についての調査を行うとともに、文化財保護審議会の審議を通じた、文化財の指定、所有者等が行う文化財の保存修理事業への支援を行った。</p> <p>これにより、県指定文化財の指定、史跡買い上げ・史跡環境整備事業の実施、国・県指定文化財の保存修理が進み、文化財保護に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護審議会の開催 1回</li> <li>・市町村が行う調査への支援 文化財保護を目的とした市町村の史跡買い上げ、史跡環境整備事業への支援 武田氏館跡、甲斐国分寺跡 外4件</li> <li>・国・県指定文化財の保存事業への支援 国・県指定文化財の保存修理、管理を行う所有者等への支援 慈眼寺本堂外2棟保存修理 外72件</li> </ul>
7 甲府城跡櫓門の整備  【学術文化財課】	公 園 費 ( 224,000) 106,594 [ 113,166]	<p>県民の歴史教育の充実や甲府市中心市街地活性化、観光振興に繋げるため、甲府城跡に存在した櫓門のうち、鉄門を復元整備するための詳細設計を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・甲府城跡櫓門復元検討委員会の設置・開催 2回</li> <li>・同建造物部会等の開催 15回</li> <li>・甲府城跡櫓門（鉄門）詳細設計の実施</li> </ul>
8 やまなし若者地域活性化プロジェクトの推進  【社会教育課】	社会教育振興費 ( 2,400) 1,382	<p>中心市街地の活性化とともに将来の地域リーダーの育成を図るため、学生等の若者による地域活性化プロジェクトを実施し、その成果を報告した。</p> <p>これにより、各事業に関わった若者は地域活性化における人的・物的に多くのノウハウを獲得し、地域活性化に貢献した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推進委員会の開催 8回</li> <li>・地域活性化プロジェクトの公募 平成22年6月</li> <li>・実行委員会による地域活性化プロジェクトの実施 平成22年7月～平成23年3月</li> <li>・事業報告会 平成23年3月</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
9 声かけあいさつ運動の推進  【県民生活・男女参画課】	—	<p>社会全体の連帯感を強め、明るく安全で住みよい地域社会づくりを推進するため、庁内連絡会の開催や各種啓発活動を実施するなど、声かけあいさつ運動を推進した。</p> <p>これにより、地域社会の人と人とのつながりを深め、犯罪に強い地域社会づくりの推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「声かけ、あいさつ運動」庁内連絡会の開催 平成 22 年 5 月</li> <li>啓発活動の実施 のぼり旗・懸垂幕の掲出 「さわやか、あいさつリレー」庁内放送の実施 警察音楽隊お昼のミニコンサート（甲府駅前）での啓発チラシ配布</li> </ul>
10 社会教育関係団体の活性化  【社会教育課】	社会教育振興費 ( 800) 753	<p>地域における教育力の向上を図るため、社会教育振興フォーラムの開催や体験交流など、社会教育関係団体が行う取り組みに対して支援した。(※やまなし地域塾として実施)</p> <p>これにより、社会教育振興フォーラム、体験交流事業、社会教育関係団体指導者養成事業に取り組み、各団体等の活動の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育振興フォーラムの実施 平成 22 年 11 月</li> <li>体験交流事業の実施 4 地区（中北、峡東、峡南、富士・東部）</li> <li>社会教育関係団体指導者養成事業の実施 3 回</li> </ul>
11 子どもクラブの活性化  【社会教育課】	社会教育振興費 ( 300) 300	<p>子どもクラブ活動の活性化を図るため、交流キャンプや親睦球技大会の開催など、子どもクラブ指導者連絡協議会が行う取り組みに対して支援した。(※やまなし地域塾として実施)</p> <p>これにより、交流活動（ふるさと子どもランドカーニバル）では、77 人が参加し、県内の子ども同士や地域を越えた東京の子どもたちとの交流が活発に行われることに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャンプを通しての交流活動 平成 22 年 7 月</li> <li>子どもクラブ親睦球技大会の開催 平成 22 年 8 月</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
12 やまなし学校 応援団の育成  【社会教育課】	社会教育振興費 ( 10,855) 9,290	<p>教員の子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果の活用機会の充実及び地域の教育力の活性化を図るため、地域全体で学校を支援する体制づくりを推進した。</p> <p>これにより、前年度と比較して、学校応援団整備市町村数は、9市町村増加し26市町村となり、学校支援の事業数については、5,575事業増加し13,048事業に拡大した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成協議会の設置 平成22年6月</li> <li>・育成協議会の開催 2回</li> <li>・コーディネーター研修会の開催 3回</li> <li>・ボランティア研修会の開催 4回</li> <li>・市町村（学校応援団）への支援</li> </ul>

# 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	4	「はぐくむ・やまなし」の実現
----------	---	----------------

政策	5	県立文化施設の整備・活用	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	12	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>                  県民が生涯を通じて芸術・文化に親しめる環境をつくっていくためには、県立文化施設の整備を進めるとともに、その活用を図っていくことが重要です。このため、新しい時代にふさわしい県立図書館の整備を、県民の幅広い意見を踏まえながら進めます。また、県立文化施設が提供するサービスの向上を一層推進し、利用客のリピーター化などを図ります。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 新県立図書館の建物建設工事及び情報システム詳細設計の実施		P.110	教育委員会	
	○ ミュージアム甲斐・ネットワークの推進		P.110	教育委員会	
	○ 県立美術館収蔵品の巡回展の実施		P.110	教育委員会	
	○ 県内博物館等の相互割引制度の導入		P.111	教育委員会	
	○ やまなし再発見講座の開催		P.111	企画県民部	
	○ 指定管理者制度の新規施設への導入		P.111	知事政策局	
	○ 山梨県文化賞の授与		P.112	企画県民部	
	○ 県立文化施設の企画展等の開催・充実		P.112	教育委員会	
	○ ブックリスト「こどもにすすめたい本」の作成		P.114	教育委員会	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			5,839 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			3,854 百万円	
	前年度までの事業費			2,853 百万円	
	本年度の事業費			1,001 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	ミュージアム甲斐・ネットワーク 会議参加博物館数	76 館 (H18)	120 館 (H22)	115 館 (H22)	88.6
	県立文化施設（美術館、博物館、 考古博物館、文学館）の入館者数	568,391 人 (H18)	575,000 人 (H19~H22の平均)	685,513 人 (H19~H22の平均)	1,772.2

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>1 新県立図書館の整備</p> <p>【新図書館建設室】</p>	<p>図書館費 ( 1,344,838) 498,102 [ 846,499]</p>	<p>誰もが多様な知識や情報をたやすく入手でき、学習や生活に活かしていくことができるよう、新しい時代にふさわしい県民に親しまれる新県立図書館の整備に向け、準備を進めた。</p> <p>これにより、建物の建設工事、情報システムの詳細設計を実施し、新県立図書館の整備は順調に進んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の建設工事 平成 22 年 10 月～平成 24 年 5 月</li> <li>・情報システム構築業務委託 平成 22 年 7 月～平成 25 年 3 月</li> </ul>
<p>2 ミュージアム甲斐・ネットワークの推進</p> <p>【学術文化財課】</p>	<p>——</p>	<p>県民文化のさらなる向上を図るため、県内博物館等によるネットワーク会議を充実させるとともに、博物館が本来持っている資料収集、調査研究等の機能を活用し、県内博物館等が連携して「やまなし学」の推進を図った。</p> <p>また、県内博物館が連携し、「夏休み自由研究プロジェクト」を実施するなど、県内博物館の相互連携が推進することに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク会議の開催 平成 22 年 6 月、11 月 部会 3 回 参加 115 館</li> </ul>
<p>3 アートミュージアム・ネットワークの推進</p> <p>【学術文化財課】</p>	<p>芸術文化振興費 ( 660) 420</p>	<p>県民の美術鑑賞の機会を充実し、文化水準の向上を図るため、県内美術館のネットワーク化を図った。</p> <p>これにより、県内美術館の連携に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立美術館収蔵品の巡回展の実施 韮崎大村美術館 平成 22 年 9 月 4 日～10 月 11 日 女性作家の作品 17 作品を貸借</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 ミュージアム 甲斐 in (会 員) 募集  【学術文化財課】	———	<p>県立文化施設に何度も足を運んでいただける方を増やすため、美術館や文学館など4つの県立施設を対象とするミュージアム甲斐 in 券（4館共通定期観覧券）を平成19年度から発行するとともに、平成20年度から県内博物館等との相互割引制度を導入した。</p> <p>これにより、4館の常設展、企画展の入館者は343,435人となり、利用者増に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージアム甲斐 in 券の発行</li> <li>・県内博物館等の相互割引制度の導入 平成20年4月から14館で実施</li> </ul>
5 山梨のアイデ ンティティの 形成  【生涯学習文化課】	社会教育振興費 ( 812) 592	<p>県民の郷土に対する愛情を育むとともに、山梨県民としてのアイデンティティを確立するため、生涯学習推進センターにおいて、本県の自然・歴史・文化・民俗などに関する学習機会を提供した。</p> <p>これにより、「山梨学講座」や「やまなし再発見講座」等が開催され、県民の生涯学習の推進が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨学講座の開催 5回 参加者 285人</li> <li>・やまなし再発見講座の開催 21回 参加者 1,973人</li> </ul>
6 指定管理者制 度の導入促進  【行政改革推進課】	———	<p>県有施設の一層のサービス向上と経費の節減を図るため、新たに1施設に指定管理者制度を導入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規導入施設 中小企業人材開発センター</li> <li>・指定管理者の指定 平成23年3月</li> <li>・指定管理者による管理運営開始 平成23年4月</li> </ul>



施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果																		
7 芸術文化ネットワークの推進  【生涯学習文化課】	芸術文化振興費 ( 3,966) 2,910	<p>地域文化の振興を図るため、地域の文化施設と連携し、優秀な芸術文化に触れる機会を提供した。また、山梨らしい個性豊かな芸術文化の創造や振興を図るため、「山梨県文化賞」により功績のあった方々を顕彰した。</p> <p>これにより、南アルプス市においてコンサートを開催し、優れた芸術鑑賞の機会を提供するとともに、県民文化ホールとの技術交流やネットワークづくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県文化賞の授与 文化功労者賞1人、奨励賞8人・1団体</li> <li>・地域文化施設での鑑賞事業の実施 東京交響楽団特別演奏会 平成22年9月 白根桃源文化会館 参加者704人</li> </ul>																		
8 県立文化施設の運営  【学術文化財課】	美術館費 ( 189,179) 95,633 [ 67,666]  考古博物館費 ( 87,845) 54,333 [ 27,070]  文学館費 ( 128,018) 65,519 [ 47,400]  博物館費 ( 315,369) 281,172 [ 830]	<p>生活に潤いをもたらす文化の振興を図るとともに、生涯学習ニーズに応じた学習機会を提供するため、県立文化施設において、美術や文学、歴史等に接する機会を充実した。</p> <p>これにより、4館の常設展・企画展の入場者について、4館合計では343,435人が利用するなど、より多くの県民に学習・鑑賞機会が提供された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展等の開催・充実 美術館事業</li> </ul> <table border="1" data-bbox="678 1361 1430 1883"> <thead> <tr> <th>特別展</th> <th>開催時期</th> <th>入館者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛のヴィクトリアン・ジュエリー展</td> <td>4月10日～6月6日</td> <td>19,024人</td> </tr> <tr> <td>池田龍雄展</td> <td>6月19日～7月19日</td> <td>3,448人</td> </tr> <tr> <td>くじらぐもからチックタックまで展</td> <td>7月25日～8月29日</td> <td>10,495人</td> </tr> <tr> <td>フェリックス・ティオリエ写真展</td> <td>9月4日～10月17日</td> <td>5,407人</td> </tr> <tr> <td>小林一三の世界展</td> <td>10月30日～11月30日</td> <td>15,211人</td> </tr> </tbody> </table>	特別展	開催時期	入館者	愛のヴィクトリアン・ジュエリー展	4月10日～6月6日	19,024人	池田龍雄展	6月19日～7月19日	3,448人	くじらぐもからチックタックまで展	7月25日～8月29日	10,495人	フェリックス・ティオリエ写真展	9月4日～10月17日	5,407人	小林一三の世界展	10月30日～11月30日	15,211人
特別展	開催時期	入館者																		
愛のヴィクトリアン・ジュエリー展	4月10日～6月6日	19,024人																		
池田龍雄展	6月19日～7月19日	3,448人																		
くじらぐもからチックタックまで展	7月25日～8月29日	10,495人																		
フェリックス・ティオリエ写真展	9月4日～10月17日	5,407人																		
小林一三の世界展	10月30日～11月30日	15,211人																		

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果																																	
9 県立文化施設の 魅力向上  【学術文化財課】	—	<p style="text-align: center;">考古博物館事業</p> <table border="1" data-bbox="678 338 1430 477"> <thead> <tr> <th>特別展</th> <th>開催時期</th> <th>入館者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発掘された女性の系譜</td> <td>10月9日～11月28日</td> <td>4,329人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">文学館事業</p> <table border="1" data-bbox="678 551 1430 864"> <thead> <tr> <th>企画展</th> <th>開催時期</th> <th>入館者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山崎方代展</td> <td>5月1日～6月27日</td> <td>3,589人</td> </tr> <tr> <td>くじらぐもからチックタックまで展</td> <td>7月25日～8月29日</td> <td>10,495人</td> </tr> <tr> <td>井伏鱒二と飯田龍太展</td> <td>9月18日～11月23日</td> <td>3,899人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">博物館事業</p> <table border="1" data-bbox="678 976 1430 1406"> <thead> <tr> <th>企画展</th> <th>開催時期</th> <th>入館者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展</td> <td>4月17日～5月31日</td> <td>20,886人</td> </tr> <tr> <td>近くて懐かしい昭和展</td> <td>7月17日～8月30日</td> <td>29,354人</td> </tr> <tr> <td>甲斐源氏列島を駆ける武士団</td> <td>10月9日～12月6日</td> <td>11,918人</td> </tr> <tr> <td>北斎の富嶽三十六景</td> <td>3月19日～5月9日</td> <td>10,432人</td> </tr> </tbody> </table> <p>県民が芸術・文化・科学に、より一層親しめるよう、県立文化施設の魅力向上を図った。 これにより、前年度にリニューアル工事を実施した文学館の常設展・企画展合計入館者数は、5,701人増加した。</p>	特別展	開催時期	入館者	発掘された女性の系譜	10月9日～11月28日	4,329人	企画展	開催時期	入館者	山崎方代展	5月1日～6月27日	3,589人	くじらぐもからチックタックまで展	7月25日～8月29日	10,495人	井伏鱒二と飯田龍太展	9月18日～11月23日	3,899人	企画展	開催時期	入館者	チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展	4月17日～5月31日	20,886人	近くて懐かしい昭和展	7月17日～8月30日	29,354人	甲斐源氏列島を駆ける武士団	10月9日～12月6日	11,918人	北斎の富嶽三十六景	3月19日～5月9日	10,432人
		特別展	開催時期	入館者																															
		発掘された女性の系譜	10月9日～11月28日	4,329人																															
		企画展	開催時期	入館者																															
		山崎方代展	5月1日～6月27日	3,589人																															
		くじらぐもからチックタックまで展	7月25日～8月29日	10,495人																															
		井伏鱒二と飯田龍太展	9月18日～11月23日	3,899人																															
		企画展	開催時期	入館者																															
		チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展	4月17日～5月31日	20,886人																															
		近くて懐かしい昭和展	7月17日～8月30日	29,354人																															
		甲斐源氏列島を駆ける武士団	10月9日～12月6日	11,918人																															
		北斎の富嶽三十六景	3月19日～5月9日	10,432人																															



施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
10 ブックリスト「こどもにすすめたい本」の作成・配布  【社会教育課】	図書館費 ( 158) 158	<p>子ども達に読書の楽しさを伝えるとともに、大人も子どもの本についての理解と関心が深められるよう、公共図書館の司書等が選定したブックリストを作成し、配布した。</p> <p>これにより、各年齢層にあった図書を広く紹介し、子どもの読書活動の普及啓発に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックリスト「こどもにすすめたい本」の作成 5,000部</li> </ul>
11 子ども読書活動への支援  【社会教育課】	図書館費 ( 700) 638	<p>子どもの読書活動の活性化を図るため、県立図書館こども室において、読書の案内や読書相談などを行うとともに、子どもの読書活動支援者への情報提供や啓発活動を実施した。また、市町村立図書館や学校図書館等への団体貸出等の支援を行った。</p> <p>これにより、前年度と比較して利用児童数が184人増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書案内、読書相談</li> <li>・子どもの読書に関する情報提供</li> <li>・団体貸出</li> </ul>
12 子ども読書活動推進体制の強化  【社会教育課】	社会教育振興費 ( 164) 47	<p>子どもの読書活動に携わる人材の資質向上に資するため、研修会等を開催するとともに、子どもの読書活動推進に係る団体の連携を強化した。</p> <p>これにより、子ども読書等に関わるボランティアグループなどの団体への児童書の貸出数が前年度より80点増加し、子ども読書活動推進体制の強化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの読書活動推進スキルアップ講座の開催 5回</li> </ul>

## 5 「さわやか・やまなし」の実現

# 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本目標	5	「さわやか・やまなし」の実現
------	---	----------------

政策	1	豊かな環境の保全と継承	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	22	
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】</p> <p>本県は、日本のシンボルである富士山をはじめ、南アルプス、八ヶ岳など雄大な山々や、これらを源とする様々な河川や溪谷、富士五湖をはじめとする湖沼など、美しい山々と豊かな水に恵まれた山紫水明の地です。この恵まれた豊かな環境を守り、未来に引き継いでいきます。また、地球規模で深刻な影響が懸念される地球温暖化の防止に努めます。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 美しい県土づくりの推進		P.116	県土整備部	
	○ 農地・水・環境保全向上対策による共同活動の実施		P.116	農政部	
	○ 桂川ウェルネスパークの整備		P.117	県土整備部	
	○ 環境教育の推進		P.118	森林環境部	
	○ 富士山世界文化遺産登録の推進		P.118	企画県民部・教育委員会	
	○ 二酸化炭素の排出抑制対策の推進		P.120	森林環境部	
	○ 太陽光発電の普及促進		P.121	森林環境部・農政部・企業局	
	○ 小水力発電の普及促進		P.121	農政部・企業局	
○ クリーンエネルギーの普及・啓発		P.122	森林環境部・企業局		
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			73,277 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			67,284 百万円	
	前年度までの事業費			53,543 百万円	
	本年度の事業費			13,741 百万円	
数値目標の達成状況	数値目標の名称	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	森林吸収源対策による森林の二酸化炭素吸収量	676 千t-CO <sub>2</sub> (H17)	864 千t-CO <sub>2</sub> (H22)	781 千t-CO <sub>2</sub> (H22)	55.9
	環境教育年間参加者数（学校林活動、環境教室等）	61,449 人 (H18)	73,000 人 (H22)	70,384 人 (H22)	77.4

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 美しい県土づくりの推進  【美しい県土づくり推進室】	土 木 総 務 費 ( 19,150) 8,792	山梨ならではの美しい県土づくりを推進するため、市町村の景観計画策定を支援するとともに、景観アドバイザーの派遣により、公共事業実施において景観形成の先導的役割を果たすことで、地域の特色ある景観形成を推進した。 ・景観計画策定への支援 4市町村 ・景観アドバイザーの派遣 県事業 35回 市町村事業 17回 ・景観セミナーの開催 平成22年7月 参加者180人
2 山村地域の景観保全の促進  【耕地課】	山村振興対策費 ( 283,172) 163,867 [ 117,999]	山村地域における都市と農村の交流を促進するため、市町村等が行う景観や自然環境の保全に向けた取り組みに対して支援した。 これにより、5地区で体験農園、農道・水路、交流施設等が整備されるなど、本県の特性を活かした魅力ある田舎暮らしや体験交流の推進に寄与した。 ・景観・自然環境保全への支援 市民農園等交流施設等の整備
3 中山間地域の多面的機能の確保  【農村振興課】	農 業 総 務 費 ( 377,916) 377,825	中山間地域の農業・農村が有する国土の保全や水源のかん養などの多面的機能を確保するため、集落協定等に基づき継続して農業生産活動に取り組む農業者などに対して支援を行った。 これにより、3,970haの農地の保全がなされ、耕作放棄地の発生防止に寄与した。 ・中山間地域等直接支払制度による支援 交付対象面積 3,970ha
4 美しい農村づくり地域活動への支援  【農村振興課】	土 地 改 良 費 ( 49,296) 48,634	美しい景観などの農村の資源を守り、次代へと引き継いでいくために、農村資源を地域住民の手で管理・保全・活用する地域住民活動を支援した。 これにより、面積6,156haの農地、120地区において、共同活動がなされ、農村環境の維持、景観の保全に寄与した。 ・農地・水・環境保全向上対策による共同活動の実施 活動面積 6,156ha

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
5 身近な生活環境の整備  【大気水質保全課】 【耕地課】 【治水課】 【砂防課】 【都市計画課】 【下水道課】	土木総務費 ( 145,028) 113,138 [ 31,890]  公園費 ( 361,384) 361,384  環境衛生指導費 ( 108,594) 99,308  土地改良費 ( 96,375) 96,375  下水道費 ( 110,057) 95,817  流域下水道建設費 (流域下水道事業特別会計) ( 2,599,833) 2,006,558 [ 593,275]	<p>豊かな自然環境の中で景観などを楽しむことができる公園や水辺空間の整備を行った。また、本県の清らかな水を守るため、下水道などの生活排水処理施設を整備した。</p> <p>これにより、平成 22 年度末の生活排水クリーン処理率は 75.9% となり、前年度末と比較して 0.5 ポイント上昇した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺空間等の整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>澁川 外 3 箇所</li> <li>・桂川ウェルネスパーク（東ゾーン）の整備                 <ul style="list-style-type: none"> <li>園路広場工、植栽工、散策路整備工</li> <li>平成 23 年 3 月全面供用開始</li> </ul> </li> <li>・浄化槽設置への支援 785 基</li> <li>・農業集落排水事業の推進 横手地区</li> <li>・公共下水道の整備 20 市町村 (公共下水道普及促進費補助金対象市町村 15 市町村)</li> <li>・流域下水道の整備                 <ul style="list-style-type: none"> <li>富士北麓流域下水道事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>汚泥濃縮設備増設（機械・電気）</li> <li>塩素混和池耐震対策・トラックスケール設置</li> <li>富士北麓 3 号幹線（推進）</li> </ul> </li> <li>峡東流域下水道事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>水処理施設耐震対策・トラックスケール設置</li> <li>平等川幹線耐震対策・峡東ネットワーク幹線（開削）</li> </ul> </li> <li>釜無川流域下水道事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>水処理施設耐震対策</li> <li>水処理施設増設（土木・建築）・トラックスケール設置</li> <li>釜無川 7 号幹線耐震対策</li> </ul> </li> <li>桂川流域下水道事業                     <ul style="list-style-type: none"> <li>汚泥脱水機設備増設・トラックスケール設置</li> <li>松留ポンプ場設備増設（機械・電気）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
6 学校林を活用した森林環境教育の推進  【みどり自然課】	———	<p>児童・生徒への森林環境教育を実践するため、学校林の整備を促進するとともに、活動プログラムの企画、提案や情報提供などの支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校林の活用 37 校</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 環境教育の推進  【森林環境総務課】 【環境創造課】	企画総務費 ( 17,163) 15,937	<p>環境教育推進の基本となる指針に基づき、多様な環境教育を推進した。</p> <p>また、本県の豊かな環境への理解が深まるよう、環境科学研究所の施設を活用し、「環境教室」等のプログラムを実施した。</p> <p>これにより、環境科学研究所で実施した環境教育への参加者が 35,505 人になるなど、県民の環境に関する意識の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境教室」等のプログラムの実施 参加者 26,187 人</li> <li>・やまなしエコティーチャーの養成・新規登録 19 人</li> <li>・やまなしエコティーチャーの派遣 48 回</li> <li>・やまなし環境学習プログラムの策定・公表</li> </ul>
8 希少野生動植物の保護対策の推進  【みどり自然課】	企画総務費 ( 2,105) 1,841	<p>本県における生物の多様性を保全するため、「山梨県希少野生動植物種の保護に関する条例」に基づき、希少野生動植物種の個体の保護や生息・生育地の保護などの対策を実施した。</p> <p>これにより、希少野生動植物種保護専門員 18 人を委嘱し、調査・保護活動を行うなど、保護対策の推進に寄与した。</p>
9 富士山世界文化遺産登録の推進  【世界遺産推進課】	企画総務費 ( 63,188) 32,366 [ 20,001]  文化財保護費 ( 18,340) 4,027 [ 13,370]	<p>富士山の顕著な普遍的価値を世界に対して明確にするとともに、その保護・保全を図り、人類共通の財産として後世に残すため、富士山の世界文化遺産登録を推進した。</p> <p>これにより、富士山の世界文化遺産登録に必要な構成資産の国文化財指定の手続きに関し、大きな前進が図られた。</p> <p>また、県学術委員会等を開催し、平成 23 年 7 月末に文化庁に提出する推薦書原案及び包括的保存管理計画案の完成度を高める作業等を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁に対し、富士五湖の国文化財指定に係る意見具申を実施 平成 23 年 1 月</li> <li>・両県合同会議の開催 2 回</li> <li>・山梨県推進協議会の開催 2 回</li> <li>・学術委員会等の開催 13 回</li> <li>・個別保存管理計画の策定推進</li> </ul> <p>国指定天然記念物「忍野八海」「鳴沢氷穴」の個別保存管理計画策定を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士五湖（山中湖、河口湖、西湖、精進湖）の世界遺産コアゾーン・国文化財指定図面作成業務を実施</li> <li>・富士五湖（本栖湖）周辺の世界遺産コアゾーン設定に伴う測量を実施</li> </ul>



施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
10 富士山の環境 保全推進  【観光資源課】	企画総務費 ( 19,185) 19,120	<p>「富士山ボランティアセンター」を拠点として富士山環境保全に向けた意識啓発事業を行うとともに、富士山レンジャーの現地巡回業務や「富士山麓環境美化推進ネットワーク」等による環境保全活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山憲章キャンペーンの実施 富士山頂キャンペーン（静岡県と共同実施） 五合目重点キャンペーン 延べ8回</li> <li>・富士山レンジャーの設置 4人</li> <li>・美化清掃活動団体への助成 2団体</li> </ul>
11 北岳等の環境 保全  【観光資源課】	観光施設費 ( 3,000) 3,000	<p>地元市町村や山小屋関係者が行う公衆トイレの設置などの取り組みに対して支援し、北岳等の自然環境の保全とともに、登山者の利便性向上にも寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北岳公衆トイレの設置・維持管理への支援 2箇所</li> </ul>
12 山岳地域等の 自然保護活動 の推進  【みどり自然課】	企画総務費 ( 3,722) 3,419	<p>山岳地域等の貴重な環境を保全するため、公募による自然監視員の配置や山岳レンジャーによる監視活動を行った。</p> <p>これにより、県内69の自然環境保全地区等の監視活動や山岳地域における高山植物の調査を行うなど、希少野生動植物種の保護や生育・生息地の保護に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然監視員の配置 170人</li> <li>・山岳レンジャーの配置 延べ228人 活動地域 南アルプス・秩父多摩甲斐国立公園 八ヶ岳中信高原国定公園</li> </ul>
13 広葉樹植栽に よる森林整備 の推進  【森林整備課】 【県有林課】 【治山林道課】	造林費 ( 8,915) 8,915  治山費 ( 52,201) 52,201	<p>里山を中心に発生している野生鳥獣による農林業被害を未然に防止するため、保安林の改良などに当たっては、餌となる実がなる広葉樹への改植を進めた。</p> <p>これにより、野生鳥獣の生育の場を確認し、生物多様性の保全に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広葉樹人工林植栽の実施及び支援 59ha 県有林 25ha（北杜市白州町横手駒ヶ岳の内黒戸山地区など） 民有林 34ha（笛吹市平沢山地区など）</li> </ul>



施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
14 地球温暖化対策の推進 【環境創造課】	計画調査費 ( 22,500) 22,206	地球温暖化対策を推進するため、「山梨県地球温暖化対策実行計画」等に基づいた施策を実施した。 また、施策推進にあたっては、二酸化炭素の排出抑制対策や森林吸収源対策などの事業を効果的に実施することにより、温室効果ガスの削減に寄与した。 ・「山梨県地球温暖化対策実行計画」の推進 ・やまなしグリーンニューディール計画推進指針の策定 平成 23 年 3 月
15 二酸化炭素の排出抑制対策の推進 【環境創造課】	企画総務費 ( 3,063) 2,414	二酸化炭素の排出を抑制するため、企業に対し温室効果ガス排出抑制計画の提出を促すとともに、「やまなしエコライフ県民運動」を推進し、家庭における環境家計簿などの普及促進を行った。 これにより、事業者や県民による自主的な取り組み拡大に寄与した。 ・温室効果ガス排出抑制計画制度の普及促進 条例上提出の義務のある特定事業者による計画提出 2 事業者 (3 事業所) 提出義務のないトライアル事業者による計画提出 18 事業者 エコ事業者シンポジウムの開催 平成 22 年 10 月 ・環境家計簿の普及促進 5,000 部 (小学校 5、6 年生) ・エコドライブ運動の推進 エコドライブ宣言 11,430 台 運輸事業者による自動車環境計画の提出 4 事業者
16 森林吸収源対策の推進 【みどり自然課】 【森林整備課】 【治山林道課】	造林費 ( 92,808) 31,667 [ 58,797] 治山費 ( 120,704) 120,704  緑のふるさと推進事業費 ( 220) 162	森林による二酸化炭素吸収量確保のため、間伐等の森林整備や、企業や団体が行う森づくり活動により、183t の二酸化炭素吸収量を認証し、森林吸収源対策の推進に寄与した。 ・森林整備(間伐等)の実施 627 ha ・林内路網の整備 16.4 km ・CO <sub>2</sub> 吸収量の認証 17 件

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
17 太陽光発電の普及促進  【環境創造課】 【耕地課】 【企業局電気課】	企画総務費 ( 528,468) 511,762  (電気事業会計) ( 407,820) 304,038 [ 103,782]  土地改良費 ( 321,855) 276,293	太陽光発電の普及促進を図るため、全国トップクラスの日照時間を活かし、個人住宅から公共施設、大規模発電施設まで多様な太陽光発電設備の整備を進めた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県有施設への率先導入 30 施設を選定し、29 施設を整備</li> <li>・既設個人住宅への導入助成 補助件数 624 件</li> <li>・大規模太陽光発電施設の整備促進 東京電力(株)との建設基本協定の変更 (全体完成時期を平成 24 年 1 月に前倒し) 平成 22 年 5 月 敷地及び場内道路整備工事の実施 米倉山太陽光発電所 PR 施設設計委託の実施</li> <li>・農村地域への太陽光発電設備の整備 2 地区</li> <li>・市町村、民間事業者等への支援 市町村の太陽光発電設備等の整備への支援 4 件 民間事業者の太陽光発電設備等の整備への支援 5 件</li> </ul>
18 小水力発電の普及促進  【環境創造課】 【耕地課】 【企業局電気課】	(電気事業会計) ( 205,958) 2,332 [ 201,883]  土地改良費 ( 413,400) 11,120 [ 402,280]  企画総務費 ( 2,700) 2,625	小水力発電の普及促進を図るため、市町村等に対する情報提供、技術支援やモデル施設の整備などを進めた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小水力発電モデル施設の整備 建設工事 1 箇所 (深城発電所(仮称)) 可能性調査の実施 1 箇所(砂防ダム)</li> <li>・農村地域への小水力発電モデル施設の整備計画 2 地区</li> <li>・市町村等への情報提供、技術支援 小水力発電開発支援室による支援 相談件数 58 件 技術的支援 26 地点 小水力発電推進マップ配布 約 1,100 部</li> <li>・市町村への支援 小水力発電施設整備への支援 1 件</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
19 バイオマス利 活用の促進  【林業振興課】	林業振興指導費 ( 8,200) 7,657	<p>バイオマス利活用を促進するため、木質資源利用システム検討会を開催するとともに、木質バイオマス利用支援センターを運営し、木材資源利用の普及促進などに向けた取り組みを進めた。</p> <p>また、地域の森林資源を活用したバイオマスエネルギーの普及促進を図るため、森林・林業に関連する県有施設にペレットボイラー・ストーブを設置した。</p> <p>これらにより、生産、加工事業者とのネットワーク化が進展し、木質資源の効率的な利用促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木質バイオマス利用支援センターの運営</li> <li>・木質資源利用システム検討会の開催 3回</li> <li>・ペレットボイラーの設置 1基</li> <li>・ペレットストーブの設置 5基</li> </ul>
20 クリーンエネ ルギーの普及・ 啓発  【環境創造課】 【企業局電気課】	計 画 調 査 費 ( 1,500) 1,500  (電気事業会計) ( 2,205) 2,011	<p>太陽光発電、小水力発電等の導入促進を図るため、再生可能エネルギーについての体験学習や、太陽光発電設備などを活用した普及・啓発を行った。</p> <p>これにより、クリーンエネルギーの導入促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の日記念行事における普及・啓発 普及・啓発コーナーの設置 平成 22 年 11 月</li> <li>・発電総合制御所（クリーンエネルギーセンター）における普及・啓発 クリーンエネルギーセンター来館者 5,163 人 クリーンエネルギー学習講座の開催 平成 22 年 7 月 参加者 30 人 親子クリーンエネルギー工作教室の開催 平成 22 年 8 月 参加者 368 人 クリーンエネルギーフェスティバルの開催 平成 22 年 11 月 参加者 1,713 人</li> <li>・米倉山太陽光発電所 P R 施設概略計画の策定 平成 22 年 9 月</li> <li>・太陽光発電安全安心・普及促進セミナーの開催 2 回 参加者延べ 200 人</li> <li>・太陽光発電出張普及啓発事業の実施 延べ 20 日間</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
21 環境にやさしいバスの普及への支援  【大気水質保全課】	公害対策費 ( 5,000) 2,530	路線バスへの低公害バスの導入を促進するため、圧縮天然ガス（CNG）やハイブリッドの低公害バスを導入する県内バス事業者に対して支援した。 ・低公害バス導入への支援 ハイブリッドバス 2台
22 既設水力発電所によるクリーンエネルギーの安定生産  【県有林課】 【企業局電気課】	(電気事業会計) ( 1,422,120) 1,217,097 [ 33,548] 造林費 (恩賜県有財産特別会計) ( 5,000) 4,770	効率的な水力発電が行えるよう、計画的に既設発電施設の改修を行った。また、早川水系において、継続的・安定的に発電が行えるよう、上流域の森林の水源かん養機能向上に努めた。 これにより、環境にやさしいクリーンエネルギーの安定供給に寄与した。 ・水力発電による電力の安定供給 供給電力量 529 百万 kWh 既設発電施設の改良等 野呂川発電所、奈良田第一発電所、広瀬発電所、琴川第一発電所 ・早川上流域水源かん養林整備事業の実施 間伐、獣害防除等 21 ha 測量調査 3 ha



# 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本目標	5	「さわやか・やまなし」の実現
------	---	----------------

政策	2	循環型社会システムの構築	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	11	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>          大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会経済活動は、最終処分場のひっ迫や不法投棄の増大などの問題を生じさせています。このため、廃棄物の発生抑制、循環的利用、適正処分の推進を図るとともに、不法投棄の防止対策を推進し、快適な生活環境である「ごみゼロ社会」を目指します。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 環境保全活動への支援		P.126	森 林 環 境 部	
	○ ごみ減量化やまなしモデル事業の推進		P.127	森 林 環 境 部	
	○ レジ袋削減の普及・啓発活動への支援		P.127	森 林 環 境 部	
	○ 廃棄物事業実態調査（一般・産業）の実施		P.128	森 林 環 境 部	
	○ 山梨県環境整備センターの管理運営		P.128	森 林 環 境 部	
	○ 食品残さの利活用の推進		P.128	農 政 部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			8,900 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			8,910 百万円	
	前年度までの事業費			6,623 百万円	
	本年度の事業費			2,287 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	県民1人1日当たりごみ排出量	1,017 g (H17)	937 g (H22)	965 g (H21)	65.0
	産業廃棄物排出量	1,492 千 t (H17)	1,297 千 t (H22)	1,300 千 t (H21)	98.5

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 廃棄物不法投棄対策の強化  【環境整備課】	環境衛生指導費 ( 34,927) 34,200 [ 550]	産業廃棄物の不法投棄を阻止するため、産廃Gメンを配置するとともに、不法投棄監視協力員への登録継続を促し、その活動に対して支援した。 これにより、延べ68人の産廃Gメンによるパトロールを実施するなど、産業廃棄物の不法投棄を阻止し、快適な生活環境の実現に寄与した。 ・産業廃棄物不適正処理機動調査員(産廃Gメン)の配置 16人(本庁8人、各林務環境事務所8人) ・不法投棄監視協力員の登録者 13人 累計1,056人(平成23年3月末現在)
2 不法投棄等未然防止支援システムの導入  【環境整備課】	環境衛生指導費 ( 1,260) 0	(助)産業廃棄物処理事業振興財団が運営する不法投棄等未然防止支援システムを運用し、広域化する不法投棄事案に対して迅速に対応できる体制を整備した。 これにより、広域化する不法投棄事案に迅速に対応し、生活環境の保全に寄与した。 ・不法投棄等未然防止支援システムの運用 事案情報の蓄積 233件 不法投棄等未然防止支援システム(エコアラームネット)の概要 運用者 (助)産業廃棄物処理事業振興財団 加入者 18機関(環境省、各地方環境事務所、東京都、神奈川県、千葉県など) 主な機能 不法投棄等の未然防止・早期発見、事案管理
3 環境保全活動への支援  【環境創造課】	企画総務費 ( 10,000) 9,339	県内の自主的な環境保全活動を促進するため、市町村が行う地球温暖化対策やごみの減量化、環境教育などの取り組みに対して支援した。 これにより、平成19年度から延べ133箇所のリサイクルステーションの設置を支援するなど、県内のごみ減量化・リサイクル推進に寄与した。 ・地球温暖化対策、ごみ減量化、環境教育への支援 リサイクルステーション・コンテナの整備 26箇所 環境学習会の開催 26回 Kids ISOプログラムへの参加 1,687人



施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 ごみ減量化の ための取り組み みへの支援  【環境創造課】	———	<p>市町村の実情に応じたごみの減量化が図られるよう、戸別収集や有料化など発生抑制の効果的な手法とリサイクル分別収集品目をモデルとして提示するとともに実践する市町村に対して支援した。</p> <p>これにより、指定袋制度を含めたごみの有料化に22市町村が取り組み、また、10品目の分別収集に19市町村が取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ごみ減量化やまなしモデル」の推進 県ホームページへの掲載 分別収集品目の拡大（剪定枝）への支援（甲斐市）</li> </ul>
5 容器包装廃棄物 の排出抑制  【環境創造課】	———	<p>容器や包装紙などの廃棄物の排出を抑制するため、小売業者、消費者団体、市町村などが協働して行うレジ袋の削減などの取り組みに対して支援した。</p> <p>これにより、平成20年7月からの累計で、レジ袋辞退者が15,906万人、レジ袋辞退枚数が21,828万枚に達した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・容器包装リサイクル推進研修会の開催 容器包装リサイクル法分別収集計画等策定説明会 平成22年4月</li> <li>・レジ袋削減の普及・啓発活動への支援 県ノーレジ袋推進連絡協議会の開催 3回 「山梨県におけるマイバック等の持参促進及びレジ袋に関する協定」の締結 38事業者 1組合 452店舗</li> </ul>
6 ごみ減量・リサ イクル推進キャ ンペーンの実施  【環境創造課】	環境衛生指導費 ( 147) 130	<p>ごみの減量やリサイクルの促進向上を図るため、キャンペーンなどの普及・啓発活動を県内各地で実施した。</p> <p>これにより、約6,400の啓発物品を配布し、ごみの減量やリサイクルの推進を呼びかけることにより、県民意識の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普及啓発物品の配布、キャンペーンの実施 実施日 5月31日～6月4日 実施場所 甲府駅南口広場、県内各地域のJR駅前など 実施団体 県及び27市町村</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 廃棄物の発生抑制や循環利用等の促進  【環境整備課】	環境衛生指導費 ( 1,407) 1,296	<p>山梨県廃棄物総合計画の進行管理を行うとともに、実態に即した廃棄物施策を推進するため、一般廃棄物及び産業廃棄物の発生量、処理量、処理方法等を調査した。</p> <p>これにより、県内廃棄物処理の実態を把握し、排出事業者や処理事業者等に対して適切な啓発等を行うことにより、適正処分など3Rの推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物処理事業実態調査（平成21年度分） 平成22年9月～平成23年2月</li> <li>産業廃棄物実態調査（平成21年度分） 平成22年7月～平成23年2月</li> </ul>
8 廃棄物の排出抑制に取り組む事業者への支援  【環境整備課】	環境衛生指導費 ( 157) 28	<p>廃棄物の発生抑制や適正処理に積極的に取り組む事業者を支援するため、これら事業者の名称等を公表するとともに、優良事業者の認定等を行った。</p> <p>これにより、前年度と比較して、排出抑制取り組み事業者が9社、優良事業者が6社増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>排出抑制取り組み事業者名の公表 70社</li> <li>優良事業者の認定・公表 61社</li> </ul>
9 廃棄物最終処分場の整備  【環境整備課】	環境衛生指導費 ( 2,226,128) 2,223,777	<p>公共関与による廃棄物最終処分場の整備を推進するため、(財)山梨県環境整備事業団が管理する山梨県環境整備センターに対して支援するとともに、次期最終処分場の整備を推進した。</p> <p>これにより、廃棄物の自県内処理の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県環境整備センター（明野最終処分場）の管理運営</li> <li>次期処分場（笛吹市境川町上寺尾）の整備 環境影響評価調査の実施 平成20年4月～</li> </ul>
10 食品残さの利活用の推進  【畜産課】 【農業技術課】	畜産振興費 ( 300) 124	<p>食品残さを家畜の飼料（エコフィード）として有効に活用するため、供給者と畜産農家のネットワークの構築を図るとともに、エコフィードの利用技術の確立に取り組んだ。</p> <p>これにより、生産者のエコフィード技術に対する理解が深まり、生産者の生産意欲の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>やまなしエコフィード利用推進会議の開催 平成23年3月</li> <li>エコフィード利用技術の開発推進</li> </ul>

施策・事業名 <b>【担当課名等】</b>	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施 策 ・ 事 業 の 概 要 及 び 成 果
11 再生資源を利用した建設資材の使用推進  <b>【技術管理課】</b>	———	<p>             給与試験の実施 県畜産試験場              (平成22年4月～平成23年3月)              エコフィールド給与豚肉試食会開催(アンケート調査実施) 平成22年9月、平成23年3月           </p> <p>             再生資源の有効利用を推進するとともに、リサイクル産業を育成するため、再生資源を利用した「リサイクル認定製品」を、県が発注する公共工事などで積極的に使用した。           </p> <p>             これにより、県公共工事において廃棄物の縮減を図り、循環型社会の形成に寄与した。           </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>             ・県公共工事でのリサイクル認定製品の使用              熔融スラグ(積みブロック) 51.3%           </li> </ul>



## 6 「つどう・やまなし」の実現

# 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本目標	6	「つどう・やまなし」の実現
------	---	---------------

政策	1	国内外に向けた山梨の魅力発信	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	10	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>          本県は、首都圏に位置しながら、清らかな水や緑豊かな森林など、美しい自然が数多く残されています。こうした本県の持つ魅力を国内外に発信するとともに、都市居住者に対して「やまなしライフ」に関する情報を積極的に提供し、本県への移住等を促進します。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 富士の国やまなし館の展示・販売機能の充実		P.132	観 光 部	
	○ 「花と名水 美し色の山梨」キャンペーンの展開		P.132	観 光 部	
	○ 「富士の国やまなし観光ネット」の機能の強化		P.133	観 光 部	
	○ 観光圏による広域的な観光地形成の促進		P.134	観 光 部	
	○ 富士北麓広域周遊観光拠点の整備		P.134	観 光 部	
	○ フィルムコミッションによるロケーションの誘致・支援		P.134	観 光 部	
	○ 山梨県フィルムコミッション連絡協議会の運営		P.134	観 光 部	
	○ やまなしライフの推進		P.135	観 光 部	
○ Uターン・Iターン就職の促進		P.135	産 業 労 働 部		
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）		4,718 百万円		
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		5,505 百万円		
	前年度までの事業費		4,386 百万円		
	本年度の事業費		1,119 百万円		
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	映画、テレビ等ロケ実施件数	129 件 (H18)	180 件 (H22)	142 件 (H22)	25.5
	山梨サポーター（やまなし大使及び山梨魅力メッセンジャー）数	1,307 人 (H18)	3,000 人 (H22)	3,252 人 (H22)	114.9

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 「富士の国やまなし館」物品展示・販売機能の充実  【観光企画・ブランド推進課】	商工振興費 ( 63,933) 62,553	<p>首都圏における情報発信拠点として、優れた県産品の展示・販売や、四季折々の観光情報の提供などを行った。平成22年6月より、(株)電通ワークスに運営を委託し、県産品の展示・販売機能の充実を図っている。</p> <p>平成22年6月から平成23年3月までの入館者は351,604人(前年度比115.8%)、売上額は5,140万円(前年度比119.4%)となっている。</p> <p>また、本県の優れた「食」の魅力を発信するため、平成22年12月には、「富士の国やまなし館」の2階に、ソムリエとして世界的に知名度が高い田崎真也氏が経営する(株)サンティールに委託し、県産のワイン等や安全・安心な県産食材を使った料理を提供する「Y-wine(わいわい)」をオープンした。</p> <p>平成22年12月～平成23年3月までの来客数は9,133人、売上額は2,087万円となっている。</p>
2 大型観光キャンペーンの展開  【森林整備課】 【県有林課】 【治山林道課】 【観光振興課】 【耕地課】 【道路管理課】	観光総務費 ( 17,000) 17,000  造林費 ( 8,992) 8,992  土地改良費 ( 676,899) 526,912 [ 149,987]  道路橋りょう整備費 ( 22,116) 19,651 [ 2,465]	<p>本県の魅力を全国に伝えるため、JR東日本の「重点販売地域」指定を活用し、官民一体となった「花と名水 美しい色の山梨」キャンペーンを展開した。また、名所周辺の道路や沿道環境の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な宣伝誘客活動の実施                         <ul style="list-style-type: none"> <li>旅行会社への情報提供及び説明会の開催 平成22年9月、平成23年2月</li> <li>観光キャラバンの実施 平成22年4月～平成23年3月</li> <li>5連ポスターの全国JR駅1,500箇所掲出 平成21年6月</li> <li>イベントガイドブックの配布 23万部</li> </ul> </li> <li>魅力的なイベントの実施                         <ul style="list-style-type: none"> <li>オープニングイベントの実施 平成22年4月</li> <li>お楽しみプレゼントの実施 平成22年4月～7月</li> <li>SL列車運行への協力 平成22年5月～6月</li> </ul> </li> <li>受入体制の整備                         <ul style="list-style-type: none"> <li>二次交通の運行継続</li> </ul> </li> <li>沿道環境の整備                         <ul style="list-style-type: none"> <li>観光地における景観の保全 昇仙峡地区(昇仙峡松林機能回復整備)</li> <li>観光地におけるアクセスの確保 山梨市上岩下地区 外5地区(農村地域活性化農道整備) 北杜市甲斐駒ヶ岳地区(広域営農団地農道整備) 笛吹市春日居町地区(地域振興県道補修) 北杜市小淵沢地内(交通対策道路)</li> </ul> </li> </ul>



施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
3 「富士の国やまなし観光ネット」を活用した情報発信  【観光振興課】	観光宣伝費 ( 13,172) 13,132	<p>本県を訪れる観光旅行客に対して、旬の観光情報を適時・適切に提供するため、市町村や観光事業者等から寄せられた情報を「富士の国やまなし観光ネット」を通じて、積極的に発信した。</p> <p>また、周遊・滞在型観光を推進するため、交通情報と観光情報の連携を図り、携帯電話やカーナビも利用できる総合観光案内システムの構築を推進した。</p> <p>これらにより、年間 13,944,230 件のアクセスとメルマガ会員 16,996 人に情報を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の発信             <ul style="list-style-type: none"> <li>旬の観光情報、旬のイベント情報、周遊モデルコース情報、バリアフリー情報</li> </ul> </li> <li>やまなし観光ネットの情報強化             <ul style="list-style-type: none"> <li>検索機能の充実、旅行商品の販売、旅行プラン作成機能、携帯電話機能等の充実</li> </ul> </li> </ul>
4 山梨の魅力メッセンジャーの認定  【観光振興課】	商工総務費 ( 1,881) 1,881	<p>県内の大学生等が卒業後も本県の魅力を伝えられるよう、本県の自然や歴史等に対する理解が深まる講座や現地視察を実施するとともに、これらの受講者を「山梨の魅力メッセンジャー」として認定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「山梨の魅力メッセンジャー」の認定             <ul style="list-style-type: none"> <li>認定者 326 人</li> <li>累計 2,544 人（平成 23 年 3 月末現在）</li> </ul> </li> </ul>
5 携帯電話専用観光ホームページの充実  【観光振興課】	観光宣伝費 ( 31,985) 31,985	<p>周遊・滞在型観光を推進するため、「富士の国やまなし観光ネット」の携帯電話機能を充実させて、県内を観光中に情報を取得できる案内システムの構築を推進した。</p> <p>このことにより、年間 5,565,185 件のアクセスによる観光客等の情報入手などに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>携帯電話情報提供機能の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>G P S 機能による現在地周辺の観光情報検索</li> <li>路線バス情報提供</li> </ul> </li> <li>Q R コードの継続設置             <ul style="list-style-type: none"> <li>J R 駅・市町村・旅館等宿泊施設・災害避難所</li> <li>3,000 箇所</li> </ul> </li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
6 広域的な観光地形成の促進  【観光振興課】	観光総務費 ( 1,800) 1,800	<p>国際競争力の高い魅力ある観光地の形成により地域の活性化を図るため、観光地が広域的に連携した「観光圏」の整備を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山・富士五湖観光圏の整備支援 富士山・富士五湖観光圏整備推進協議会に情報提供等を実施 富士北麓駐車場を拠点とした圏域内の広域周遊観光の促進に資するため富士山・富士五湖観光圏整備推進協議会が実施する基礎調査、観光人材の育成事業の実施支援</li> <li>・八ヶ岳観光圏の認定・整備支援 八ヶ岳観光圏整備推進協議会の認定を支援 八ヶ岳観光圏整備促進協議会に情報提供等を実施</li> </ul>
7 富士北麓広域周遊観光の推進  【観光資源課】	観光施設費 ( 551,580) 407,281 [ 144,000]	<p>富士スバルラインの渋滞解消と富士北麓地域における広域周遊観光の推進を図るため、拠点となる駐車場を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場整備、観光案内所及びトイレの建設</li> </ul>
8 映像産業招致の推進  【観光企画・ブランド推進課】	観光総務費 ( 1,482) 1,441	<p>本県のイメージアップと誘客を図るため、フィルムコミッションにより、映画やテレビなどの撮影（ロケーション）の誘致・支援を行い、山梨を舞台とした映画やドラマ、テレビ番組を通じて本県を広くPRした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映画・テレビ等の撮影の誘致・支援 142件</li> <li>・ロケ地データベース情報の充実</li> <li>・山梨県フィルムコミッション連絡協議会の運営 (全市町村参加)</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
9 やまなしライフの推進 【観光振興課】	観光総務費 ( 3,200) 3,200	<p>二地域居住の促進により、本県の交流・定住人口の増加を図るため、本県での暮らし（やまなしライフ）に関する相談窓口の運営や相談会の開催など情報提供を行った。</p> <p>また、田舎暮らしガイドブックの作成・配布、WEBサイトの運営により、「やまなしライフ」に関する情報を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「グリーンカフェやまなし」における相談 172件</li> <li>・「甲斐適生活相談会」の開催 平成22年6月、10月、平成23年2月 参加者239人</li> <li>・二地域居住誘導促進モニタリング調査の実施 モニター認定者 22人</li> <li>・「田舎暮らし出張セミナー」の開催（2日） 平成28年8月、10月 参加者45人</li> </ul>
10 Uターン・Iターン就職の促進 【労政雇用課】	雇用対策費 ( 6,734) 5,063	<p>県内労働力を確保するため、県外の学生やU・Iターン希望者に対して企業情報を提供するとともに、就職相談の実施や就職面接会を開催した。</p> <p>これにより、平成19年度以降、12,836件の就職相談を実施するなど、U・Iターン就職の促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまなしU・Iターン就職支援室での就職相談等の実施 7,123件</li> <li>・就職面接会の開催 平成22年5月 参加者119人 参加企業32社</li> </ul>



# 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	6	「つどう・やまなし」の実現
----------	---	---------------

政策	2	時代のニーズを満たす多様な観光の振興	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	16	
<p>【政策推進に当たっての基本的考え方】</p> <p>美しい自然、良質な温泉、新鮮でおいしい農産物など、本県には、「健康」や「癒し」といった観光客のニーズを満たす地域資源が数多くあります。これらを活用し、「日本のスイス」と呼ばれるような観光地づくりを進め、観光客の大幅な増加を図ります。</p>					
平成 22 年度 の 主 な 取 り 組 み 状 況	項 目		頁	担 当 部 局	
	○ 上海におけるトップセールスの実施		P.138	観 光 部	
	○ 北京・上海拠点におけるセールス活動の実施		P.138	観 光 部	
	○ やまなし観光推進機構の運営支援		P.139	観 光 部	
	○ やまなし観光推進機構による着地型旅行商品の造成・販売		P.139	観 光 部	
	○ 企業研修等団体旅行の誘致		P.139	観 光 部	
	○ 農山村地域における都市住民との交流支援		P.139	観 光 部	
	○ 中京・関西方面重点キャンペーンの実施		P.140	観 光 部	
	○ 観光地の再生、魅力向上への支援		P.141	観 光 部	
	○ 富士の国やまなし観光振興施設整備費補助金による支援		P.141	観 光 部	
事 業 費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			9,683 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			8,959 百万円	
	前年度までの事業費			7,513 百万円	
	本年度の事業費			1,446 百万円	
数 値 目 標 の 達 成 状 況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進 捗 率 (%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	観光客数	44,040 千人 (H18)	50,000 千人 (H22)	47,138 千人 (H21)	52.0
	外国人観光客数	689 千人 (H18)	1,000 千人 (H22)	908 千人 (H21)	70.4

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 海外誘客宣伝活動の実施  【国際交流課】	観光宣伝費 ( 6,424) 6,368	本県の魅力を積極的に海外に売り込むため、市町村や観光事業者等と連携して、中国においてトップセールスを実施し、本県への外国人観光客の誘客を図った。 平成22年の外国人宿泊者数は495千人で、前年と比較して21.0%増加した。 ・上海トップセールス 平成22年8月 「富士の国やまなし」観光フェアの開催 上海メディア記者会見の実施 「やまなしサポーターズ倶楽部 in 上海」の発足
2 東アジアからの観光客誘致の促進  【国際交流課】	観光宣伝費 ( 5,000) 5,000	東アジアからの観光客を誘致するため、観光セールスを強化するとともに、日本国内での手配を専門的に行う旅行会社を県内に招へいし、本県の観光資源をPRした。 平成22年の東アジアからの外国人宿泊者数は、375千人で、前年と比較して26.8%増加した。 ・中国北京・上海拠点におけるセールス活動の実施 通年 ・ランドオペレーターの招へい 平成22年11月
3 外国人旅行客受入の向上  【国際交流課】	———	外国人旅行客の受入体制の充実を図るため、「外国人観光客実態調査」を行い、動向を把握するとともに、旅館の従業員等の接客力の向上を図るための中国語研修などを行った。また、富士山五合目において、外国人登山者の事故防止と利便性向上を図るため、外国語による登山情報等の提供を行った。 ・「外国人観光客実態調査」の実施 平成22年6月～7月 ・インバウンド観光セミナーの開催 中国語実践講座 2地域12回 平成22年10月～平成23年3月 参加者38人 中国語ホームページ等作成講座 4回 平成23年1月～3月 参加者18人 ・富士山五合目における登山案内等の実施（英語・中国語） 平成22年7月～9月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 新たな観光振興推進体制の確立  【観光振興課】	観光総務費 ( 63,000) 60,025	<p>国内外の観光客の効果的・効率的な誘致を図るため、産学官が協働して設立したやまなし観光推進機構と連携し、観光の振興に取り組んだ。</p> <p>また、着地型旅行商品の造成・販売に取り組み、78の商品を造成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまなし観光推進機構の運営支援</li> </ul> <p>主な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JR、NEXCOと協働した観光キャンペーン</li> <li>観光・物産情報の発信</li> <li>インバウンド観光客の誘客</li> <li>県産品の販路拡大</li> <li>着地型旅行商品の造成・販売促進</li> <li>旅行会社への商品造成促進</li> <li>観光人材の育成</li> </ul>
5 企業研修等団体旅行の誘致  【観光振興課】	観光総務費 ( 1,400) 1,400	<p>山梨ならではの受入メニューなどの情報発信や首都圏の大手旅行会社への営業活動などを行い、企業研修・ミーティングなど「新たな団体旅行」の誘致に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入メニューの追加 4メニュー</li> <li>・旅行会社への働きかけ 10回</li> <li>・受入メニュー体験ツアーの実施 平成23年11月</li> </ul>
6 富士の国やまなしロングステイの推進  【観光振興課】	—	<p>エコツアー等の滞在メニューを含むツアーの情報発信を行い、観光の振興を図った。</p>
7 やまなし都市農村交流の促進  【観光振興課】	農業総務費 ( 1,560) 823	<p>本県におけるグリーンツーリズムの普及を促進するため、農山村地域の多様な資源を活用し、都市住民との交流活動に取り組む富士の国やまなし農村休暇邑協会の活動に対して支援した。</p> <p>これにより、地域コーディネーターの資質向上や相互の連携、地域資源の発掘・活用が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士の国やまなし農村休暇邑協会の活動内容</li> <li>都市農村交流事業提案コンテストの実施</li> <li>優秀提案4点の選定(応募12点)</li> <li>モニターツアーの実施(4コース、参加者54人)</li> <li>活用推進会議による地域コーディネーターの連携</li> <li>資質向上研修会の開催(平成23年3月)</li> </ul>



施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
8 観光懇話会の開催 【観光企画・ブランド推進課】	観光総務費 ( 689) 393	観光カリスマや学識経験者等で構成する観光懇話会を開催し、今後の観光振興の在り方についての意見を施策に反映した。 ・山梨県観光懇話会の開催 3回
9 地域観光コーディネート の促進 【観光振興課】	——	地域でこそ知り得る観光素材を活用し、新たな観光地域づくりを行う団体等の取り組みに対して支援した。これにより、到着地で様々なメニューを楽しみたいという観光客のニーズへの対応が図られた。 ・新たな観光地域づくりへの支援 5団体
10 エコツーリズムの推進 【観光資源課】	——	自然環境に恵まれた南アルプスや八ヶ岳南麓、奥秩父などにおけるエコツーリズムの普及・定着を図った。 ・市町村や関係団体等に対する情報提供、指導助言等
11 宿泊客増大に向けた観光商談会等の開催 【観光振興課】	——	本県に宿泊する観光客の増大を図るため、中京・関西圏での観光キャンペーンを実施した。 ・中京・関西方面重点キャンペーンの実施 高速道路SA等での観光キャンペーン 18回 SAへのパンフレット設置 14箇所 SA・PAへの電子ポスター掲出 37箇所 ハイウェイ観光ナビゲーター(談合坂・双葉) 85日 東京・大阪に駐在職員を配置し、旅行会社等への営業活動
12 県立大学における国際観光講座の実施 【私学文書課】	大 学 費 ( 558) 558	グローバルな観光人材を育成するため、学生や県民・企業が参加できる国際観光講座(公開講座)を県立大学で実施し、県民等の観光に関する理解を深めた。 ・県立大学における公開講座の実施 平成22年10月～平成23年2月 4回 参加者133人

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
13 観光地域の再生  【観光振興課】	観光総務費 ( 7,000) 7,000	<p>県内の主要な観光地の再興を図るため、観光事業者や地域住民が市町村等と協働して行う観光地の再生や魅力向上に向けた取り組みに対して支援した。</p> <p>特に、平成20年度から支援を行っている昇仙峡、下部温泉郷に加え、新たに湯村温泉郷、清里・八ヶ岳南麓において誘客イベント、モデルツアー、おもてなしシンポジウムなどを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地再生アドバイザーの派遣 4地区（昇仙峡、下部温泉郷、湯村温泉郷、清里・八ヶ岳南麓）</li> <li>・観光地再生に向けた基盤整備等 4地区（昇仙峡、下部温泉郷、湯村温泉郷、清里・八ヶ岳南麓）</li> </ul>
14 観光振興施設整備への支援  【森林整備課】 【治山林道課】 【観光資源課】 【道路整備課】	観光施設費 ( 90,000) 65,474  造林費 ( 10,644) 10,644  林道費 ( 53,000) 53,000  道路橋りょう建設費 ( 2,271,177) 953,940 [ 1,317,237]  道路橋りょう整備費 ( 350,526) 254,335 [ 96,191]	<p>地域における観光の舞台づくりを計画的に進めるため、市町村等が行う観光振興施設の整備に対して支援するとともに、富士山周辺の道路等を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「富士の国やまなし観光振興施設整備費補助金」による支援 富士吉田市 下吉田駅前広場 北杜市 尾白川溪谷駐車場 鳴沢村 道の駅なるさわ公衆トイレ など7市町村・1民間山小屋事業者10箇所</li> <li>・観光に資する道路整備 林道の改良 南アルプス線 延長0.1km 観光振興施設の周辺道路の整備 富士河口湖芦川線 外5路線 延長5.8km</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
15 温泉療養都市 づくりの促進  【観光振興課】	———	<p>「健康」、「癒し」、「滞在」等の新たな旅行需要を呼び起こし、観光客の増加につなげるため、温泉利用プログラム型健康増進施設と病院等との連携による温泉療養都市づくりを促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>温泉療養都市づくりに向けた情報提供、助言等 随時</li> </ul>
16 温泉健康づくりの普及への支援  【健康増進課】	———	<p>温泉を利用した健康づくりを普及させるため、温泉利用プログラム型健康増進施設に必要な温泉入浴指導員の養成に対して支援した。</p> <p>これにより、400人の温泉入浴指導員による入浴指導が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>温泉入浴指導員養成講習会（財）日本健康開発財団への支援</li> </ul>

## 7 「むすぶ・やまなし」の実現

# 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	7	「むすぶ・やまなし」の実現
----------	---	---------------

政策	1	県土を形成する骨格道路網の整備	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	10	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>                  海のない本県にとって、物流、防災など、高速道路に対する期待は大きいものです。このため、中央自動車道や中部横断自動車道をはじめとする骨格道路を整備するとともに、その効果を最大限に活用できるよう、県土に広域的な道路ネットワークを整備します。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 中部横断自動車道の整備促進		P.144	県土整備部	
	○ 新山梨環状道路の整備		P.144	県土整備部	
	○ 西関東連絡道路の整備推進		P.145	県土整備部	
	○ 地域間を結ぶ国道・県道の整備		P.145	県土整備部	
	○ 地域の日常生活を支える道路の整備		P.145	県土整備部	
	○ スマートインターチェンジの整備促進		P.146	県土整備部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			51,332 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			61,637 百万円	
	前年度までの事業費			49,050 百万円	
	本年度の事業費			12,587 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	主要渋滞ポイント（全47箇所）のうち解消箇所の割合	42.6% (H18)	55.3% (H22)	55.3% (H22)	100.0

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 中部横断自動車道の整備促進  【高速道路推進室】	—————	<p>中部横断自動車道の早期完成を目指し、関係機関と調整を行うとともに、中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会等を通じて、国や中日本高速道路(株)などの関係機関に対する要望活動を行った。</p> <p>これにより、国の予算が増額となるなど整備促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各期成同盟会等への参画 6団体</li> <li>関係機関への要望活動 6回</li> </ul>
2 中部横断自動車道関連公共施設の整備  【道路整備課】	道路橋りょう建設費 ( 1,683,898) 808,488 [ 875,410]  道路橋りょう整備費 ( 64,453) 58,248 [ 6,205]	<p>中部横断自動車道の整備が円滑に進められるよう、工事用道路やアクセス道路を整備するなど、関連公共施設の整備を推進した。</p> <p>これにより、身延インター関連道路を供用するとともに、交通隘路区間が解消され、沿線地域の利便性の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アクセス道路整備 市川三郷身延線 (六郷 I C 関連)</li> <li>バイパス道路整備 国道 300 号波高島バイパス 延長 0.3 km</li> </ul>
3 中部横断自動車道用地の確保  【高速道路推進室】	道路橋りょう総務費 ( 209,050) 111,592 [ 90,000]	<p>中部横断自動車道の整備に協力し、これを促進するため、国や中日本高速道路(株)から用地買収等に関する事務を受託し、用地の確保を進めた。</p> <p>これにより、建設に向けての用地確保が大幅に前進し、工事の計画どおりの実施に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用地の確保 買収面積 1,063,668 m<sup>2</sup> 進捗率 91.7% (平成 23 年 3 月末現在)</li> </ul>
4 新山梨環状道路の整備  【道路整備課】 【高速道路推進室】	道路橋りょう総務費 ( 44,100) 21,156 [ 22,944]  道路橋りょう建設費 ( 104,402) 104,402  道路橋りょう整備費 ( 33,853) 28,853 [ 5,000]	<p>甲府市内に集中する交通を分散し、交通渋滞に伴う経済的な損失や環境への負荷を軽減するため、国との連携を図り、都市計画公聴会の開催や北部区間のアクセス道路の確保など、新山梨環状道路の整備推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北部、東部区間の環境影響評価の実施、都市計画法手続きの推進</li> <li>アクセス道路の整備 敷島竜王線 外 1 路線 延長 2.2 km</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
5 西関東連絡道路の整備推進  【道路整備課】 【高速道路推進室】	道路橋りょう建設費 ( 2,109,197) 1,254,433 [ 854,764]  道路橋りょう整備費 ( 57,443) 55,729 [ 1,714]	<p>本県と北関東地域との連絡を強化し、本県経済の発展や観光振興につなげられるよう、西関東連絡道路の万力ランプ（山梨市）以北の建設を推進した。</p> <p>特に、甲府山梨道路Ⅱ期区間については、用地取得率が86%となり、工事着手が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路整備           <ul style="list-style-type: none"> <li>国道140号三富道路 道路改良工事</li> </ul> </li> <li>西関東連絡道路（甲府山梨道路Ⅱ期区間）           <ul style="list-style-type: none"> <li>トンネル工事（万力工区）</li> <li>橋梁工事 2橋</li> <li>用地補償</li> </ul> </li> </ul>
6 地域間を結ぶ国道・県道の整備  【道路整備課】 【都市計画課】	道路橋りょう建設費 ( 7,568,044) 5,040,898 [ 2,527,146]  道路橋りょう整備費 ( 533,395) 385,255 [ 148,140]  街路事業費 ( 1,290,402) 739,728 [ 550,674]	<p>県内の各圏域間や主要な拠点間の移動の円滑化を図るとともに、高速道路をはじめとする基幹的な道路に容易にアクセスできるよう、計画的に国道や県道の整備を進め、有機的な道路交通網を形成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基幹となる国道・県道の整備           <ul style="list-style-type: none"> <li>国道411号上萩原Ⅲ期バイパス 設計業務</li> <li>国道411号城東Ⅱ期バイパス 用地補償</li> </ul> </li> <li>国道139号渋滞対策関連道路の整備           <ul style="list-style-type: none"> <li>渋滞対策連絡協議会の開催 3回</li> </ul> </li> <li>国道139号バイパスの整備           <ul style="list-style-type: none"> <li>国土交通省との事業調整会議</li> </ul> </li> <li>主要拠点や高速道路ICへのアクセス道路の整備           <ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画道路滝坂下今井線 延長0.5km</li> <li>都市計画道路南下条穂坂線 延長0.2km</li> </ul> </li> </ul>
7 地域の日常生活を支える道路の整備  【道路整備課】 【道路管理課】	道路橋りょう建設費 ( 4,530,871) 3,188,950 [ 1,341,921]  道路橋りょう整備費 ( 1,009,946) 789,471 [ 220,475]	<p>地域間相互のアクセスを向上するとともに、緊急時には避難路等としても活用できるよう、日常生活で頻りに利用する道路について、幅員が狭い箇所や危険な箇所等の改良を進めた。</p> <p>これにより、歩道拡幅や道路改良が進展するなど、地域住民の暮らしやすさの向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活を支える国道・県道の整備           <ul style="list-style-type: none"> <li>韮崎南アルプス中央線 富士吉田西桂線 外2路線2箇所 延長7.7km</li> </ul> </li> <li>交差点の改良、歩道の設置、低騒音舗装           <ul style="list-style-type: none"> <li>国道140号 笛吹市石和町井戸地内外3路線 延長0.8km</li> </ul> </li> </ul>



施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
8 富士五湖道路 の第二東名接 続の促進  【高速道路推進室】	—————	<p>東富士五湖道路と第二東海自動車道を結ぶ国道138号御殿場バイパス等の早期完成を促進するため、東名・中央連絡道路建設促進期成同盟会等と連携して、国や関係機関等に対する要望活動を行った。</p> <p>また、静岡県、国土交通省甲府河川国道事務所、静岡国道事務所及び沼津河川国道事務所と連絡会を開催し、整備を進めることを促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東名・中央連絡道路建設促進期成同盟会等と連携した要望活動の実施 要望活動 3回</li> </ul>
9 中央道の6車線 化及び圏央道の 延伸の促進  【高速道路推進室】	—————	<p>中央自動車道の上野原インターチェンジから八王子ジャンクションまでの6車線化の早期実現や圏央道の延伸を図るため、山梨県高速道路整備促進期成同盟会等を通じて、国や関係機関等に対する要望活動を行った。</p> <p>また、東京都、神奈川県と連絡会を開催し、整備を進めることを促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県高速道路整備促進期成同盟会等を通じた要望活動の実施 要望活動 5回</li> </ul>
10 スマートイン ターチェンジ の整備促進  【高速道路推進室】	—————	<p>中央自動車道へのスマートインターチェンジの整備を促進するため、国や中日本高速道路(株)などの関係機関に対し積極的な要望活動を行った。</p> <p>また、設置を予定している地方自治体と勉強会を開催し、整備を進めることを促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>期成同盟会への参画 4団体</li> <li>関係機関への要望活動の実施 5回</li> </ul>

# 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	7	「むすぶ・やまなし」の実現
----------	---	---------------

政策	2	鉄道の利便性向上と地域航空の検討	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	9	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>          周囲を山々に囲まれた本県にとって、地域と地域、人と人を結ぶことは、極めて重要です。このため、鉄道の利便性向上を図るとともに、地域航空についての検討を進めます。また、リニア中央新幹線の実現を視野に入れた取り組みを進めます。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 中央東線高速化促進広域期成同盟会による国、JR東日本への要望活動		P.148	リニア交通局	
	○ パークアンドライドの推進		P.148	リニア交通局	
	○ 中央線の利便性向上を図るためのJR東日本への要望活動の実施		P.148	リニア交通局	
	○ 山梨リニアファンクラブ会員の募集		P.149	リニア交通局	
	○ リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会への支援		P.149	リニア交通局	
	○ リニア駅周辺まちづくり調査の実施		P.150	リニア交通局	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			1,082 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			737 百万円	
	前年度までの事業費			654 百万円	
	本年度の事業費			83 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	山梨リニアファンクラブ会員数	12,135 人 (H18)	15,000 人 (H22)	15,560 人 (H22)	119.5

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 横田飛行場の民間航空利用に向けた国への要望  【知事政策局】	———	県民や本県を訪れる観光客等の利便性向上につながる横田飛行場の民間航空利用を実現するため、地元である東京都と協調しながら、国に対する働きかけを実施し、実現に向けた継続的な取り組みを促した。 ・国への要望 2回
2 中央東線高速化の促進  【交通政策課】	交通安全推進費 ( 200) 200	中央線の高速化に向けた世論を喚起するため、本県をはじめ、長野県や沿線市町村等で構成する「中央東線高速化促進広域期成同盟会」と連携して国やJR東日本等に対する要望活動や普及・啓発活動を実施し、実現に向けた継続的な取り組みを促した。 ・国への要望活動 平成22年11月 ・JR東日本への要望活動 平成22年10月 ・普及・啓発活動 平成22年10月、11月
3 「中央線高速化等利便性向上検討委員会」での検討・協議  【交通政策課】	———	本県をはじめ、東京都、甲府市及びJR東日本で構成する「中央線高速化等利便性向上検討委員会」において、中央線の高速化や利便性の向上などについて検討・協議するよう準備を進めたが、東日本大震災の影響等により日程が整わず開催できなかった。
4 パークアンドライドの推進  【交通政策課】	交通安全推進費 ( 123) 32	公共交通を活性化し、環境にやさしいパークアンドライドを推進するため、「山梨県パークアンドライド推進協議会」において施策の検討・研究を行った。 これにより、中央高速バス停付近へのパークアンドライド用駐車場増設の取り組みを促した。 ・山梨県パークアンドライド推進協議会の開催 平成23年3月
5 JR東日本への要望活動の実施  【交通政策課】	———	中央線の利便性の向上を図るため、早朝、深夜の特急電車の新設や特急定期券の導入、E電の甲府駅乗り入れの実現、東京駅を始発終着駅とする特急の増発などについて、JR東日本に対する要望活動を実施し、実現に向けた継続的な取り組みを促した。 ・JR東日本への要望活動の実施 平成22年10月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
6 リニア中央新幹線の早期実現  【リニア推進課】	企画総務費 ( 20,182) 19,856	<p>リニア中央新幹線の早期実現に向けて、県民世論の醸成を図るため、普及・啓発活動を行った。</p> <p>これにより、リニア見学センターには10万人を越す入館者を集めるとともに、リニアファンクラブの会員数が目標を上回る15,560人になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨リニアファンクラブ会員の募集 新規会員 514人増</li> <li>・普及・啓発活動の実施 県民の日など</li> <li>・県立リニア見学センターの管理運営</li> </ul>
7 リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会への支援  【リニア推進課】	企画総務費 ( 6,553) 6,453	<p>リニア中央新幹線の早期実現に向け、リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会が行う要望活動や普及・啓発活動に対して支援し、実現に向けた継続的な取り組みを促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陳情・要望活動の実施 国への要望2回 平成22年5月、11月</li> <li>・広報・啓発活動の実施 甲府駅北口への看板の掲出 平成22年4月～平成22年9月 ラジオCM 平成22年4月～平成23年3月</li> </ul>
8 山梨リニア実験線の早期完成  【リニア推進課】	企画総務費 ( 140,494) 50,963 [ 9,569]	<p>リニア中央新幹線実現の前提となる技術が早期に確立されるよう、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構から山梨リニア実験線に係る用地事務を受託し、その早期完全取得を目指すとともに、工事に必要な関連道路等の整備に取り組んだ。</p> <p>これにより、関連公共事業も予定通り行われており、実験線の建設が計画通り進捗した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨リニア実験線の用地取得 買収率 100% (平成22年3月末現在)</li> <li>・関連公共事業の実施 笛吹市道226号線</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
9 リニアを活用した県土づくりの推進  【リニア推進課】	企画総務費 ( 5,999) 5,028	<p>リニア（中央新幹線）を活用した県土づくりを推進するため、リニア駅周辺まちづくり調査を実施するとともに、リニア活用推進懇話会で、開通後を見据えた県土全体のランドデザインの検討を行った。</p> <p>これにより、先行事例となる新幹線駅設置都市における開業の影響や、それを契機とした取り組みや課題を把握するとともに、懇話会において幅広い観点からの検討を進め、リニアを活用した県全体の活性化の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リニア駅周辺まちづくり調査の実施</li> <li>・リニア活用推進懇話会の開催 3回</li> </ul>

## 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	7	「むすぶ・やまなし」の実現
----------	---	---------------

政策	3	情報ネットワークの活用	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	8	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>          急激な情報化時代が到来する中、地域間格差の広がり全国的な課題になっています。このため、高速、大容量のネットワーク時代に向け、ビジネス、観光、遠隔地医療などの情報ネットワーク体制を整備します。また、その構築と維持に必要な人材を育成します。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 地上デジタル放送推進のための山梨県最終行動計画の作成		P.152	企画県民部	
	○ JR中央線トンネル区間における携帯電話の不感解消		P.153	企画県民部	
	○ 山梨県図書館情報ネットワークシステムの運営		P.153	教育委員会	
	○ 土砂災害情報相互通報システムの整備		P.153	県土整備部	
	○ やまなしまなびネットワークシステム学習情報等の提供		P.153	企画県民部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			368百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			292百万円	
	前年度までの事業費			210百万円	
	本年度の事業費			82百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	情報ハイウェイへの接続数	16件 (H18)	55件 (H22)	60件 (H22)	112.8



# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 地上デジタル テレビ放送への 対応  【情報政策課】	———	<p>地上デジタルテレビ放送を県内のすべての地域で等しく視聴できるよう、CATV事業者等の取り組みを促進した。</p> <p>これにより、県内のCATV 27施設のうち、26施設について、CATV以外の共聴施設 176施設のうち、147施設については平成 22 年度中に地デジ対応が完了し、地デジ放送における受信環境の整備に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県地域情報化推進協議会に設置した「地上デジタル放送普及推進部会」の開催による情報提供 2回</li> <li>山梨県地域情報化推進協議会において「地上デジタル放送推進のための山梨県最終行動計画」を作成 平成 23 年 3 月</li> <li>ネットワーク基盤整備に対する技術支援の実施</li> </ul>
2 ブロードバンド・ゼロ 地域解消のためのネッ トワーク基盤の活用  【情報政策課】	———	<p>県内のどこでも高速インターネットが利用できるよう、国、県、市町村、事業者の連携を図りながら、情報ハイウェイを活用したネットワーク基盤の整備及び利活用促進について検討した。</p> <p>これにより、平成 22 年度末のブロードバンド整備率は 100%に達し、県民が快適にインターネットを利用できる環境整備に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村職員研修会の開催 1回</li> </ul>
3 携帯電話の不 感地域解消  【情報政策課】	情 報 管 理 費 ( 6,000) 6,000	<p>携帯電話の利用可能地域の拡大のため、国、県、市町村、事業者の連携を図りながら、携帯電話の不感地域の解消を図った。</p> <p>これにより、県内の情報通信環境の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 19 年 9 月に把握した不感地域の 29 地区のうち、28 地区解消</li> </ul>
4 J R 中央線トンネル 区間における携 帯電話の不感解消  【情報政策課】	———	<p>公共交通機関利用時にも移動通信サービスの提供が受けられるよう、J R 中央線トンネル区間における携帯電話不感の早期解消に向けた要望活動を実施した。</p> <p>これにより、甲府－高尾間における長さ 2,000m以上のトンネルのうち、新小仏、新与瀬トンネルの 2ヶ所で携帯電話が利用できるようになり、また新笹子トンネルで不感解消工事が実施され、県内の情報通信環境の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国への要望活動 2回</li> </ul>



施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
5 官民による情報ネットワークの活用促進 【情報政策課】	—————	<p>教育や医療の面での利便性の向上や地域産業の振興を図るため、情報ハイウェイなどの情報ネットワークの利活用について、官民一体となって検討を進めるとともに、情報ハイウェイへの接続を促進した。</p> <p>これにより、情報ハイウェイへの接続数は、合計60件となり、情報ネットワークの活用促進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報ハイウェイへの接続数 2件増</li> </ul>
6 山梨県図書館情報ネットワークシステムの運営 【社会教育課】	図書館費 ( 8,904) 8,897	<p>県民の生涯学習環境を充実させるために、県内公共図書館等の所蔵資料の書誌データを蓄積した総合目録データベースの拡充を図り、これらの情報をインターネットを通じて提供した。</p> <p>これにより、アクセス件数の合計は、31,529件であり、県内図書館利用者の利便性の向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークシステムの維持管理</li> <li>インターネットでの情報提供</li> </ul>
7 土砂災害情報相互通報システムの整備 【砂防課】	砂防地すべり対策費 ( 68,562) 63,391 [ 5,171]	<p>土砂災害が発生する恐れのある地域からの早期避難を促し、人的被害を未然に防止するため、警戒避難情報や危険箇所に関する情報を提供するとともに、県民からも災害関連情報が収集できる通報システムの構築に着手した。</p> <p>また、既存通報システムに地震情報の配信を加えることで、県民が災害に関する情報を得る機会の拡充に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県から県民への情報提供システムの強化</li> <li>県民から行政機関に通報するシステムの構築</li> </ul>
8 生涯学習情報の提供 【生涯学習文化課】	社会教育振興費 ( 3,730) 3,596	<p>県民の生涯学習活動を支援するため、インターネットを活用した「やまなしまなびネットワークシステム」により生涯学習に関する情報の提供や学習相談などを行った。</p> <p>これにより、生涯学習に取り組む県民をサポートすることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>やまなしまなびネットワークシステム学習情報等の提供</li> </ul> <p>提供件数 12,521件 アクセス件数 898,495件</p>



## 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	7	「むすぶ・やまなし」の実現
----------	---	---------------

政策	4	多様な分野における国際交流の推進	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	11	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>                  富士山を眺望でき、豊かな自然があふれる本県は、宝飾、ニットなどの高い技術力を有するなど、世界に誇れる魅力の宝庫です。このため、海外との人的・物的交流を活発化し、山梨の魅力を発信することで、国際交流県やまなしの形成に努めます。</p>					
平成22年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ やまなし多文化共生推進協議会の開催		P.156	観 光 部	
	○ 山梨県アイオワ州姉妹締結50周年記念式典の実施		P.156	観 光 部	
	○ 語学指導等を行う外国青年の招致		P.156	総務部・観光部・ 教育委員会	
	○ 海外技術研修員の受け入れ		P.157	観 光 部	
	○ JICAボランティアへの参加促進		P.158	観 光 部	
	○ 海外見本市・国際商談会への出展		P.158	産 業 労 働 部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			995 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			941 百万円	
	前年度までの事業費			711 百万円	
	本年度の事業費			230 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	外国人住民支援のための多文化共生施策を実施している市町村の割合	46.4% (H18)	85.7% (H22)	85.2% (H22)	98.7

# 主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
1 多文化共生の 推進  【国際交流課】	諸 費 ( 185) 151	<p>地域で暮らす外国人に対する生活面での支援体制を確立し、地域住民との共生を図るため、多文化共生社会の形成に向けた協議会を開催した。</p> <p>これにより、関係機関や市町村等が連携し、広域的・横断的な課題への対応を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまなし多文化共生推進協議会の開催 2回</li> </ul>
2 姉妹友好交流 の推進  【国際交流課】	諸 費 ( 21,676) 14,560	<p>本県と姉妹協定や友好協定を締結した地域との交流を推進するため、米国アイオワ州との姉妹県州締結50周年記念事業を本県で開催するとともに、中国四川省との友好県省締結25周年に当たり、四川省で開催された記念行事に本県の公式訪問団を派遣した。また民間交流団体に対して支援するとともに、職員や留学生の相互派遣を行い、交流関係の強化と将来を担う人材の育成を図った。</p> <p>山梨県アイオワ州姉妹締結50周年記念式典の実施 (平成22年4月8日～10日)</p> <p>四川省で行われた友好省締結25周年記念行事に公式訪問団を派遣 (平成22年8月3日～5日)</p> <p>大韓民国忠清北道 職員 派遣1人、受け入れ1人 留学生 派遣1人、受け入れ1人</p> <p>アメリカ合衆国アイオワ州 留学生 受け入れ1人</p> <p>中華人民共和国四川省 職員 受け入れ1人</p>
3 語学指導等を行 う外国青年 の招致  【私学文書課】 【国際交流課】 【高校教育課】	諸 費 ( 21,871) 20,611  私学振興費 ( 4,705) 4,614  教育指導費 ( 132,749) 130,785	<p>本県と諸外国との相互理解を増進するとともに、地域における国際化を促進するため、国際交流員や外国語指導助手を海外から招致し、中高生に外国語を指導するとともに、異文化交流のイベント等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流員の招致 4人</li> <li>・外国語指導助手の招致 30人              私立学校1人(中学校2校 高等学校5校)              県立学校等29人(高等学校27校 高校教育課総合教育センター)</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 山梨県国際交流協会への支援  【国際交流課】	諸 費 ( 7,600) 7,501	<p>本県における民間国際交流活動を促進するため、(財)山梨県国際交流協会が行う諸外国との相互理解と友好親善を深める取り組みに対して支援した。</p> <p>これにより、地域の国際化に対する県民への啓蒙、青少年の国際感覚の育成、通訳ボランティアガイドのスキルアップが図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)山梨県国際交流協会への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>国際観光振興事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>英語・中国語観光通訳ボランティアガイドセミナー 1回</li> </ul> </li> <li>国連思想普及啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>国連講演会「2011年 日本の針路・世界の行方」</li> <li>高校生弁論大会</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
5 やまなしグローバルネットワークづくり  【国際交流課】	——	<p>本県にゆかりのある外国人や留学生が、国際交流や観光振興などの分野で本県に貢献できるよう、これらの人材に関するデータベースを充実し、本県から海外への情報発信力の強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外人材データベースへの登録 338人</li> <li>・新規対象者への周知徹底</li> </ul>
6 国際交流センターの運営  【国際交流課】	諸 費 ( 36,836) 36,790	<p>本県の国際交流・国際協力の中核拠点として整備した国際交流センターの管理・運営を指定管理者に委託し、サービスの向上と経費の削減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者への委託 (財)山梨県国際交流協会 <ul style="list-style-type: none"> <li>国際理解講座、災害時ボランティアセミナー等の実施</li> </ul> </li> </ul>
7 海外技術協力の推進  【国際交流課】	諸 費 ( 13,536) 12,557	<p>本県と開発途上国との信頼関係を構築し、その経済発展に貢献できるよう、中国、ブラジル、ペルー、メキシコから研修員を受け入れ、知識や技能が修得できる機会を提供した。</p> <p>これにより、4カ国の将来の担い手の育成が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外技術研修員等の受け入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>ブラジル連邦共和国など4ヶ国から5人</li> </ul> </li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
8 国際協力の推進 【国際交流課】	諸 費 ( 194) 130	<p>青年海外協力隊等のNGO（非政府組織）の国際協力活動について、県民が正しい知識を持てるよう、セミナー等を開催した。</p> <p>これにより、本県からの青年海外協力隊へのボランティア参加の促進が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民のJICAボランティアへの参加促進 14人</li> <li>・NGOセミナー等開催 海外セミナー開催 1回 受講者 35人</li> </ul>
9 海外県人会への支援 【国際交流課】	諸 費 ( 1,560) 960	<p>本県と外国との架け橋となる海外県人会の活動を促進するため、ブラジル、ペルーの県人会が行う本県のPRや日本文化の伝承などの取り組みに対して支援した。</p> <p>これにより、県人会組織の維持・強化と日本文化の紹介などにより、本県の認知度向上が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外県人会への支援 2県人会</li> <li>・「ふれあい」など定期刊行物の送付</li> </ul>
10 富士北麓地域における国際交流ゾーンの検討 【企画課】	企画総務費 ( 1,000) 203	<p>地域の特性を活かした振興を図るため、富士北麓地域の市町村や商工団体等との連携を図りながら、「富士北麓国際交流ゾーン構想」の実現に向けたMICEの誘致・開催のための体制づくりなどについて検討を進めた。</p> <p>これにより、地元のMICEに対する理解の向上が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士北麓地域MICE研究会等の開催 2回</li> </ul>
11 貿易の振興 【産業支援課】	商工振興費 ( 1,441) 1,320	<p>中小企業の海外取引を促進するため、関係機関による海外見本市への出展や専門アドバイザーによる企業への情報提供などの取り組みに対して支援した。</p> <p>また、中小企業の海外取引を促進するための専門相談窓口を設けるなど、海外への販路開拓に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門アドバイザー等による相談 17件</li> <li>・海外見本市・国際商談会への出展 計3回</li> </ul>

